



七二会は明治時代から養蚕の盛んな地域で、校章には桑の葉がデザインされています。3・4年生の複式学級では、総合的な学習の中で、蚕飼育に取り組んでいます。食べ盛りの蚕のために、地域の方が桑の葉を届けてくださいました。(七二会小学校)

- 第3回臨時総会報告…2~4      『『極意』伝承道場』のご案内…4  
令和3年度全県研究大会報告…5      「ふるさとの大地」購読のご案内…6      掲示板…7  
リレー通信 わたし自慢<sup>29</sup> 経験が生きる 後藤正義 (小諸市立東小学校)…7  
100年館の絵 吉越孝喜 (長門小学校)…8      会員ひろば 望月政和 (三郷中学校)…8

※「新春対談」を延期いたします。掲示板(7頁)をご覧ください。

## 2月の研修ガイド

4日(金)~10日(木) ※会員にのみ動画配信

●全郡教科等まとめの会 ◎下伊那教育会講堂 ◇国語科、道徳の各委員会と県小学校の研究発表、講演 山浦貞一 ☆下伊那教育会 0265-52-0808

19日(土) ●哲学講演会 ◎長野上水内教育会館参集と Zoom ミーティングのハイブリッド ◇「ことばと出会う~考える教育~」岡田 勝明 (姫路獨協大学教授) ☆長野上水内教育会 026-226-2458

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等 (講師名敬称略) ☆連絡先



## 「魅力ある事業の構築に向けて 信濃教育会に望むこと」

「保有債券償還に伴う新規債券購入の承認」が決議

令和3年度第3回臨時総会を、11月30日（火）に信濃教育会講堂において、代議員数50名中48名の出席者により開催し、議案が満場一致で決議され、5つの協議題についても協議された。さらに、「魅力ある事業の構築に向けて信濃教育会に望むこと」をテーマに活発な意見交換がなされた。以下臨時総会の概略を報告する。

### 【武田会長あいさつ】

○11月22日の常任委員会では越川求先生から「戦後改革期における信濃教育会存続の歴史的意味」と題して、信濃教育会の歴史と役割に関しての話をお聞きする研修を行った。また、雑誌「信濃教育」1620号、令和3年11月号には「信濃教育会にとって『二・四事件』とは何であったのか」と題する前田一男先生の特別寄稿が掲載された。長野県教育の歴史の中で、大正時代に長野県内では自由教育の中で多くの教員がそれぞれに児童中心の教育を試み実践した。信州教育の黄金期といわれる。信濃教育会は「教権の確立（教権の独立）」を掲げ、教師の自立性を主張し、実践を積み重ねた。大正13年（1924年）に起こった「川井訓導事件」での信濃教育会の対応は面目躍如たるものがあつた。しかし、信濃教育会は、昭和8年（1933年）年の「二・四事件」を境に「国策遂行の協力へと大きく舵を切つて」いった。戦前、全国各地に存在した「教育会」は、戦後全国で推進された教職員組合との一本化の動きの中で、全国のほとんどで一本化され、消滅していくが、越川先生によると信濃教育会は「戦前・戦後から現在に至るまで教育会として存続し、大きな役割を果たしている全国に唯一の存在である」のである。

○歴史を学ぶことは、未来を考えることである。信濃教育会の歴史には、多くの先輩たちの、夢や苦悩や戦いがある。そういう先輩の足跡を知ること、その時を理想としてそこに戻ろうとすることでも、先輩の功績を賛美することでもない。それは、苦難の中で先輩が残してくれた信濃教育会や郡市教育会を、目の前の子どもたちやこれから生まれてくる子どもたちのために、どう生かすのかという問題であり、教育を通してどのような社会を形成していくのかという問題である。

○信濃教育会が会員を勧誘するのは、現在行っている事業を維持するためではなく、多くの仲間が集い、学び合

い、助け合いながら、子どもたちのためによりよい教育を提供するためである。本来教員は自ら学ぶものである。教員免許更新制の廃止、文部科学省はこれを「発展的解消」と言っているが、その官制研修は、教員の研修意欲を低下させるという可能性を示唆しているようにも思う。中央では免許更新制の後継研修のあり方が議論されているようだが、本来研修は主体的・自立的なものであるべきだ。信濃教育会プラス郡市教育会という資源を持つ長野県は、本来の教員研修のあるべき姿を、全国に発信するよい機会ではないだろうか。

### 【議 事】

第1号議案「保有債券償還に伴う新規債券購入の承認」に関する件

### 【協 議】

- (1) 令和3年度事業の成果と課題・令和4年度事業の方向
- (2) 令和4年度予算編成方針（収入見込み）
- (3) 令和3年度信濃教育会の事業に対する会員アンケートのまとめ・令和3年度図書教材研究協議会アンケートのまとめ
- (4) 令和3年度臨地講習・基礎講座の成果と課題・令和4年度臨地講習・基礎講座の予定
- (5) 今後の会員増の取組について

### 【報告・連絡】

- (1) 第136回信濃教育会総集会上高井大会基本構想
- (2) 令和3年度第25回教育研究論文・教育実践賞の募集
- (3) 第73回日本連合教育会研究大会東京大会への参加について
- (4) 「信教会長と語ろう」の実施状況
- (5) 退職者名簿の提出について
- (6) 生活科・総合的な学習の時間実践誌「ふるさとの大地」の発刊について

## 【意見交換】

### テーマ「魅力ある事業の構築に向けて信濃教育会に望むこと」

- ・LINEのようなもので情報発信することはどうか。会員側が自ら選んで登録するような、ホームページなどを見て自分で求める研修に登録できるようにして研修意欲を高めたい。
- ・受講者を増やすには、講座のハードルを下げる。
- ・研修などについて、スマートフォンなどでダイレクトに発信を受け取れるようにする。
- ・「研修の良さ、人との語り合い、学びの楽しさなどが感じ取られる環境づくり」「ハイブリットやオンラインの活用促進」「郡市教育会だけではできない著名な講師を招いての講演会」「教育会で行う事業は教育の根幹にかかわる教育理念と若い先生たちは明日からすぐに活かせる両面の事業」に取り組んでほしい。
- ・将来子どもたちが生きる世の中に対する社会貢献という視点がないと魅力が伝わりにくい。
- ・信教が講座や研修などを提供する時代ではなく、各自が選んだものをバックアップする時代になる。ベテランが金銭的なバックアップをし、若い先生は気兼ねなく研修に参加させたい。
- ・ICTについて苦手意識を持った先生でも、自分ならこれは参加できそうだと思うようにハードルを下げる。発達障がいや不登校など現場のニーズに応えた研修がほしい。
- ・「学校や郡市では招聘できない指導者との研修の場」「学校でも行える新しい研修」「若手の先生方が親しめる教育会」に向けた取り組みをお願いしたい。
- ・研修の対象者を明確に打ち出して良いのではないか。育児休業明けの教職員を対象とした講座や、退職者や再任用者を対象にした講座も良い。
- ・自ら学ぶ意欲を高める点から、ニーズに合わせた研修が必要。信濃教育会のバックアップで郡市教育会とのコラボレーションも良い。
- ・自主的な研修が大切。自分の実践を自分が発信する立場で会員がやってみようという気持ちになる。その後押しが大事である。
- ・時代の要請に合った新しい事業は好評である。逆に精選や見直す部分もあっても良いのではないか。夏休み期間は郡市教育会でも同じようなことをしている。参加者が分散する原因になっている。
- ・理科の研究調査は専科が増えて担任が受け持つ機会が少なくなっている。教科担任制が始まり、益々担任が理科を教える機会が減り、ニーズが下がると思う。分析が必要。

- ・ホームページなどで情報は発信しているが、受ける側は目的がないと見ようとしにくい。LINEやメールで発信する方法もあるのではないか。『『極意』伝承道場』へ参加した先生は大変はりきっていた。たとえ、参加者は少なくともこういう事業の良さ、魅力を広く発信することが大事である。
- ・誰に参加してほしい研修なのか、誰に勧めたい研修なのか、一人一人にどう声を掛けるか。郡市教育会でもグーグルクラスルームの法人版を利用し学校と同じシステムを導入し始めた。
- ・信濃教育会の事業に参加した先生方からとても良かったと意見がある。一方、「負担になるからやめてほしい」「講師には負担がかかるのでやめたほうが良い」という否定的な意見もある。これらの負担感をなくするには、「オンラインでの参加の良さ」「実際に参加して顔を合わせる良さ」「土日の研修を避け、平日の研修はどうか」という意見もある。
- ・魅力ある講座や研修だが、伝わっていないところがある。校長から発信する、若い先生同士で参加した感想を伝え合うなど考えたい。こういうことは現場でやらないといけない。

## 【閉会のあいさつ】

- さまざまなアイデアをいただいた。実践できるものを実現してまいりたい。「教師塾B」について、肯定的な感想をいただき感謝。
- グラフィックファシリテーションは、ある民間の会に出席したときに「面白い」と思い、そのポイントを聞いた。「見える化することで構造的になる。構造化することが大事」という話で、これは板書と同じだと思った。板書は「構造的に書くように」と言われてきた。意識せずに書いている人もいるが、グラフィックファシリテーションを学ぶことは板書力を上げることになると思う。
- コミュニケーションについて、最近の先生たちが悩むことの多くは保護者や子どもとの関係である。コミュニケーションの取り方がうまくいっていないのではないだろうか。上伊那にKOAという半導体を作っている企業がある。その会長秘書桑原さんは、秘書の仕事をしながらコミュニケーションについて勉強している。是非、お招きしたいと考え実現させた。
- 作文については、作文の指導専門家は誰かと悩んだが、信濃毎日新聞の記者の方に快く引き受けていただいた。
- 11月20日には信州“教育の日”木曾大会 YouTube Liveを行った。11月の第3土曜日を信州“教育の日”と定めて、毎年大会を行っている。信濃教育会が事務

局を引き受けているが、長野県の小中学校長会や特別支援学校長会なども実行委員会構成メンバーになっている。三岳小学校の6人の子どもたちの「御嶽山ジュニア火山マイスターの取り組み」に関する発表や、木祖中学校の「藪原祭り獅子舞」の発表など、信州教育、長野県教育の内容的な側面、地域との密着性。信濃教育会のホームページから視聴できるので是非見て木曾の良さを感じていただきたい。

○木曾檜川中学校で総合的な学習の時間に触れてみて、長野県の子どもたちは地元が好きなのだと感じた。子

どもたちが地元を好きなのは、自然、文化もあるが、そこに住んでいる人が好きなのだと、人に対する愛着があって地域が好きなのだろうと思う。そういう子どもたちを大事に育てていくことが信州教育の土着性である。その地域が好きであるという感情を大事にしてほしい。コロナ禍により修学旅行を県内で実施する学校が多い。県内にも見るべきところがこんなにいろいろあると改めて知ったのではないかな。是非、信州“教育の日”木曾大会の様子を見ながら地域とともに学校教育があることを感じてもらいたい。

## 来たれ！「極意」伝承道場へ！！

信濃教育会では教師力講座として「極意」伝承道場を今年度から始めました。その一端をご紹介します。**令和4年度も実施します。信濃教育会のホームページにも掲載し、4月1日には募集案内を各学校へ送付します。募集案内をご覧ください“あなたも「極意」伝承道場に参加してみませんか！”**



### 豪華な指導陣

それぞれの教育分野で優れた実践を積み重ねている先生方の指導上の『極意』を直接学ぶことができる講座です。10名の指導者の先生方、50名の受講者（10講座すべての受講者数）で年間4～5回ほど開催されました。

受講した先生方には大好評でした。各講座の様子はブックレット2月号でお知らせします。指導者は以下の10人の先生方にお願いました。

菊池泰弘先生（佐久平浅間小）	授業づくり
菊池 衛先生（上田市立北小）	授業づくり
濱 秀彦先生（城南小）	学級経営
藤井篤徳先生（箕輪中）	国語学習
大澤幸弘先生（高陵中）	生徒指導
牛丸真子先生（三岳小）	特別支援
工藤 弘先生（豊科東小）	生徒指導
駒村京子先生（常盤中）	音楽指導
岸田文子先生（城南中）	特別支援
吉澤孝志先生（広徳中）	不登校支援



### 苦労も気軽に相談



「極意」伝承道場の様子です。指導者の先生（中央）からの確かなアドバイスをいただきました。

指導者や受講者の授業を参観しての協議や指導者の先生方からの役立つ指導上の『極意』のお話等、学ぶ価値ありの講座です。

講座に集まった先生方同士が、普段悩んでいることについて相談したり、教育課題について話し合ったりできる点もとてもよかったということです。



### いろいろな学び

（受講者の感想から）

- 学校で一人しか教科担当がいないので、普段はなかなか教科指導を学ぶ機会がないのですが、学ぶ機会が増えてよかったです。
- 1回きりの授業公開ではないので、授業からは読み取れないところも自分から見つけにくくことで新たな発見をできるのがこの研修のよいところです。

新しい形の研修です

# 令和3年度 全県研究大会報告

## 1 開催地区・実施日・開催校（教科等）・授業者

開催地区	実施日	開催校（教科等）・授業者		
東北信B：中野・下高井	11/9（火）	東小（外国語活動） 高社小（社会） 豊田中（数学）	宮尾 匠 藤巻 祐輝 金子 智	教諭 教諭 教諭
中信：安曇野市	11/11（木）	豊科東小（生活） 穂高南小（体育） 穂高西中（技術・家庭科 技術）	柳澤 由香 内川 舜也 才田 亘	教諭 教諭 教諭
南信：下伊那	11/16（火）	上郷小（理科） 上村小（総合的な学習の時間） 松川中（英語） 鼎中（道徳）	重盛 美聡 清水あい香 岡田 直也 矢嶋 俊樹	教諭 教諭 教諭 教諭
東北信A：更埴	11/18（木）	戸倉小（特別活動） 五加小（国語） 戸倉上山田中（総合的な学習の時間）	塚田 雄祐 嶋田まゆみ 熊谷 修一	教諭 教諭 教諭

## 2 参加人数（延べ人数） 670名

## 3 研究の内容

### [研究の立場]

- ・授業者の自己課題解決に向けてのプロセスを明らかにする研究とした。そのために、継続した授業記録、子どもの変容する姿をVTRに録り、見返しを行っていった。
- ・本年度、特徴的だったのは「ICTを利用した授業」であった。教育効果を高めるためのツールとして用いる実践が多かった。

### [研究会の持ち方]

- ・コロナウイルス感染症への対応もふまえながら、新たな研究会の持ち方として、授業公開ではなく、VTRやパワーポイントを用いて発表し、討議の柱を設定して研究会を行った。
- ・現在広く進められているICTを活用して、タブレット端末を一台ずつ持つでの討論、子どもの授業を模して実際に演習をしてみるといった、新しいスタイルの研究会もあった。

## 4 感想から

- 授業者の自己課題の追究を研究の柱に据え、授業者の試行錯誤する姿を追っていくこと研究の進め方が新鮮であった。形式化と理論化から脱却した研究スタイルを学んだ。
- 継続的にリフレクションを行っていることに驚いた。長期間、記録をつけていくことで授業の方向付けや児童への支援につながっていた。
- 授業者の「全ては子どもの学びのために」という視点で動画やICTが使われているのが印象的であった。ICTが目的ではなく子どもたちの協働的な学び、最適な学びのためにという視点を大切にしたい。

次年度から、新たな時代に向けて「全県研究大会」は変わります。これまで積み上げてきた研究の成果を大切に、「子ども自らが、心ゆくまで探究する」をベースとなる授業観として、会員が互いに学び合える研究大会を目指していきます。

信州の生活科・総合的な学習の時間 実践誌

# ふらっとの大地

## 第25号発刊 購読のご案内

編集 公益社団法人 信濃教育会

B5判 / 本文72ページ / カラー口絵4ページ

発行1月末日 定価 500円 (税込)

テーマ **自らを問う** ～支える教育観～

### ■ 特集

主体的な学びの本質から  
これからの生活科・総合的な学習のあり方を考える

北海道大学大学院教育学研究院教授 守屋 淳

### ■ 特集2

病院と地域がつながりあうことへの挑戦

～人を見ることに挑戦し続けるある病院の取組～

### ■ シリーズ

⑧ **生活科・総合的な学習と学力**

～灰縄プロジェクトに取り組んだ担任と教え子が、  
当時を振り返る中でみえてくるもの～

酒井賢一先生の千曲市立更埴西中学校時代の実践

### ■ 県内各地の生活科・総合的な学習実践事例、コラム、実践ライブラリーなど

#### 【実践事例】

- |  |            |       |
|--|------------|-------|
| ★一年中あさがおさんと一緒にいたね (1・2年)                     | 飯田市立伊賀良小学校 | 村田 結子 |
| ★ぼくたちのおいけ 湧き上がる願い (1・2年)                     | 大町市立美麻小中学校 | 西澤 沙織 |
| ★しろちゃんに会いに行こう大作戦 ～私が子どもたちから教えてもらったこと～ (1・2年) | 山ノ内町立東小学校  | 宮尾 匠  |
| ★一から小麦プロジェクト ～おれたちが初めてじゃない?～ (滋野小5・6年)       | 長野市立松代小学校  | 寺島 純一 |

#### 【コラム】

- |  |            |        |
|--|------------|--------|
| ★行こうよ! うら山 (1年)                        | 伊那市立美篤小学校  | 藤澤 真弓  |
| ★みんなで食べて長生きできる!? ～栃餅作りへの道～ (塩尻市立吉田小4年) | 塩尻市立宗賀小学校  | 青木 真代  |
| ★泉台小の宝 ～青い目の人形～ (5年)                   | 飯山市立泉台小学校  | 荒井 愛香  |
| ★“すな”がいたから、笑顔いっぱい2年2組になれた (2年)         | 小諸市立坂の上小学校 | 長田 明日佳 |

#### ●内容についてのお問い合わせは…

田中和幸 (延徳小 校長)・下 育郎 (長沼小 校長)・浅井かよ子 (千曲市立東小 校長)・池上浩人 (箕輪町立箕輪南小 校長)・山岸澄雄 (美麻小中 校長)

#### ●ご注文は、しんきょうネット各営業所まで

\*\*\*\*\* FAX でのご注文は、フリーダイヤル 0120-25-1098 \*\*\*\*\*

北部営業所 TEL.026-284-5541・中部営業所 TEL.0263-47-6629・東部営業所 TEL.0268-23-1152・南部営業所 TEL.0265-81-0361

発行



一般社団法人

**信州教育出版社**

TEL 026-232-0291 FAX 026-232-5058

<http://www.shinkyo-pub.or.jp>

## 掲 示 板

今月号に掲載予定の「新春対談」は鉄拳さんのご都合により延期いたしました。本年度中に掲載しますので楽しみに！  
ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「信州教師塾A」を開催します。

「長野県の教員を目指すには」  
～来年度の採用制度が変わる～

長野県の教員を  
目指すあなたへ

2月19日(土)  
10:00～12:00

2月7日(月)までに  
QRコードよりお申込みください。



今回のみの  
参加もお待ち  
しています。



## わたし自慢 29

### 経験が生きる



小諸市立東小学校 後藤 正義

思い返せば、私の両親の教育方針は凄い。父は年中単身赴任、母も日中は仕事で、私は鍵っ子であった。そんな私を見かねてか、両親は私に、自由に使えるパソコンを家に置いてくれた。当時、私は小学校3年生である。

私は両親のいない間、よくパソコンを触っていた。最初はソリティアやピンボールなど、パソコンに搭載されていたゲームをするだけだったが、操作に慣れるにつれて、パソコンでできることの可能性を探るようになっていった。

パソコンは私に合っていたようで、小学生の時から、自分でホームページを作り、所属していたクラブの活動を公開したり、ソフトを使ってゲームを作ったりしていた。中学生の時には、お気に入りの画像や音源を使って動画編集を行い、DVDを作っていた。できなかったことが、徐々にできるようになっていくこ

とが楽しくて、夢中で色々挑戦したことは良い思い出である。また、両親は私を諫めることなく、温かく見守ってくれた。本当に感謝している。

現在、教師としてあの時の経験が生きている。先生方の働き方改革の一助になっているし、話下手の私にとって、先生方と話ができるきっかけになることは有り難い。また、子どもたちにパソコンの操作を丁寧に教えてあげられる。パソコンが楽しいと言いながら夢中で活動している子どもたちの姿を見ると、あの時の自分に重なり、感慨深い。今後も現状に満足せず、私の経験を精一杯職場や子どもたちに生かしていく所存である。



予告



ポスト・コロナの学校を考える

造形遊び：材料の準備や制作後の後片付け、それぞれに伴う時間、更にはゴミ問題を思うと、はたしてこれで良いのか、という思いを着想とした本单元です。机上でできる造形遊びが出发点で、ティッシュを色水で貼り付けます。ここまでする造形遊び、一つ評価します。その結果できた色面を上下左右様々に見て何に見えるか、ここから創造力を要する絵画領域。单元名も『何に見えるかな』、ここでも評価

します。削減された図工美術に割ける時数の中で、私なりの苦肉の策です。さて、作者の志保さん。児童会長も務めました。自称「精神年齢三〇歳」という感性の持ち主で、表現力も年齢不相応に豊かでした。作品を見ていただければ説明不要と思います。まるで絵本の中から出てきた画面です。ネコ本来の野生を感じる物語、素敵と思いませんか。

指導者  
吉越 孝喜 (長門小学校)

100年館の絵

令和2年度 永年保存作品  
今を生きる子どもの絵



「さあ・・・狩りの時間だニャア・・・」  
牛山 志保 (長門小6年)

信濃教育博物館所蔵

会 員 ひ ろ ば

温故知新

～歴史を学び、新しい知識や見解を拓く旅～

三郷中学校では、10月31日、11月1日、2日の三日間、奈良・京都での修学旅行を実施しました。三日間とも好天に恵まれ、充実した旅行となりました。ちょうど紅葉が始まっており、赤や黄色に色づきはじめた景色の中、古都の神社・仏閣等を生徒は興味をもって見学し、学習を深めることができました。生徒にとって一生の思い出に残る修学旅行になりました。

「故きを温ねて、新しきを知る」。先の見えない状況下で、4月に予定された修学旅行を延期し、この時期に実施しました。感染症対策を踏まえた秋の修学旅行となりましたが、生徒の笑顔から新たな修学旅行の形を創り出していくエネルギーをもらいました。  
(三郷中学校 望月政和)



教職員川柳

コロナ止め 消えた行事は どうすべし (ぐうたら)  
 コロナ禍で 表情見えぬ マスクかな (鯖の味噌煮)  
 「お母さんー」 いやいや私は 男です (多毛生地)  
 コロナにも 負けない言葉 「ありがとう」 (だるま)  
 休みたい けど休めない 先生は (みどりババ)

ご応募お待ちしております。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyu.or.jp

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。

